



カエル・ヘビウオツチング

カエルやヘビという言葉をかきくと、「こわい」「気持ちが悪い」という印象をもってしまう人も少なくありません。しかし、里山にはいろいろなカエルやヘビがすんでおり、これらの生きものも、里山の生態系をささえる重要な一員です。

この活動のねらい

カエルやヘビを身近に観察し、生活のしかたや、里山にすむ他の生きものとのかわりについて知る。

準備するもの

- ・軍手またはゴム手袋
- ・たも網または捕虫網
- ・布袋
- ・カメラ
- ・筆記用具
- ・図鑑
- ・木の枝
- ・スネークフック
- ・懐中電灯（夜間の観察に使用する）

事前準備

- ・長袖、長ズボン、手袋を着用し、必ず長靴をはくようにする。
- ・コースの選定にあたっては、下見をし、安全に観察できる場所を決めておく。
- ・カエルやヘビがつかまえられることを想定し、場合によっては観察用として、事前に採集しておくが良い。

カエルやヘビをさがそう

1 カエルやイモリ、トカゲのつかまえ方を示す。

- ・近くで見つけたときは、素早く手で押さえる。特に、トカゲのなかまは、尾を押さえると自切して逃げられてしまうので注意する。
- ・離れたところにいる場合は、刺激を与えないようにそっと近づき、網でつかまえる。

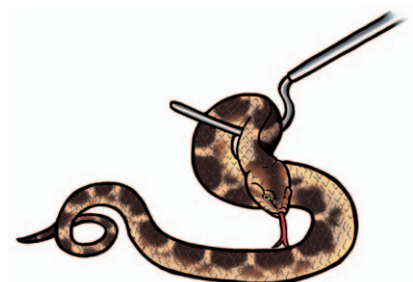
2 ヘビのつかまえ方を示す。

- ・先の割れた木の枝や太めの針金の先を曲げたスネークフックなどを用意しておく。
- ・地表にいるヘビは、木の枝でヘビの頭のすぐ後ろの部分を押さえ、逃げないようにする。利き手でヘビの頭のすぐ後ろの部分をつかみ、反対の手に持った袋に頭から入れる。
- ・木の上や石垣など少し高い位置にいる場合は、そのまま手で頭のすぐ後ろの部分をつかむか、スネークフックなどで手元に引き寄せてからつかむとよい。

〈注意〉

ニホンマムシやヤマカガシには毒があり、咬まれると命に関わる場合もあるので、これらのヘビは無理につかまえずに、少し遠くから観察するとよい。ニホンマムシは、体つきが太くて短く、大きな円形の中央に暗い色の点がある斑紋があり、ヤマカガシは、首のうしろに朱色や黄色の斑紋があるのが特徴である。

また、カエルやヘビなどをさわった場合は、さわった手で目をこすったりしないよう注意する。



カエルやヘビを観察しよう

1 カエルやヘビを見つけたら、その周囲の環境を観察する。

- ・カエルやヘビが見つかるということは、周囲にそのえさとなるものがあるということである。どんな生きものが多い場所なのかも併せて観察するとよい。
- ・運がよければ、カエルやヘビがえさをとる姿を目撃できる可能性もある。

2 観察方法

(1) 採集したカエルやヘビの体長、体の色や模様、体の形などを調べる。

(2) どんなところで見つかったかを調べる。

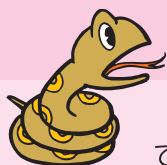
- ① 林の中（樹上、土の中）
- ② 田んぼや池及びその周囲（水面、水辺）
- ③ 草むら（草の上、土の中）

(3) どんな行動や動き方をしていたかを調べる。

(4) どんなものを食べているのかを話し合う。



どこにいるかな？



ヘビに咬まれてしまったら…

ヘビに咬まれたら、どんなヘビだったのかを確認することが大切である。気が動転していても、これだけは注意深くしておく必要がある。もし毒ヘビの可能性が高い場合には、応急処置として傷口に水を流しながら毒を手で絞り出すとよい。さらに、市販されている携帯用の吸引器を事前に用意しておき、吸引器で毒を吸い出すのが最も効果的である。いずれにしても、救急車を呼ぶなどしてできるだけ早く病院に行き、必ず医師の処置を受ける。

まとめ

- ・カエルやヘビはどんな環境を好むのか、それはどうしてか。また、種によって違いはあるのかなどを考えましょう。
- ・カエルやヘビがどんな生きものを食べているのか、さらに、その生きものが何を食べているのかなど食う食われるの関係を考え、カエルやヘビがすむ環境全体をとらえさせることも大切です。

参考となる本

『アクアリウムシリーズ ザ・爬虫類&両生類』（誠文堂新光社）、『ヘビの世界』（（財）日本蛇族学術研究所）、『小学館の図鑑 NEO 6 両生類はちゅう類』（小学館）

調べる生きものについて

● 里山で見られる主なカエル



林 池

アズマヒキガエル

体長 全長4～16cm
体色 背中は茶色
鳴き声 クッククッ



林

タゴガエル

体長 全長3～6cm
体色 背中は黄土色から赤褐色
までさまざま
鳴き声 ググググ



林 田 池

ニホンアカガエル

体長 全長3.5～7cm
体色 背中は黄土色から赤褐色
までさまざま
鳴き声 キョッキョッキョッ…



林 田 池

ヤマアカガエル

体長 全長4～8cm
体色 背中は黄土色から赤褐色
までさまざま
鳴き声 キャララ…



林 田 池

シュレーゲルアオガエル

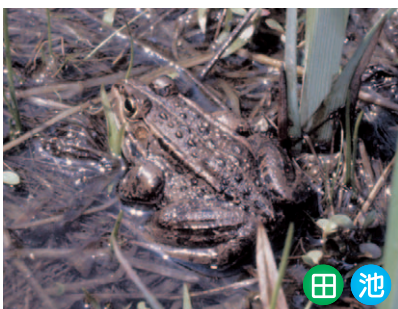
体長 全長3～5.5cm
体色 模様のない鮮やかな緑色
褐色になることもある
鳴き声 ピリリリ…



田 池

ニホンアマガエル

体長 全長2～4.5cm
体色 緑色から茶色まで変化する
鳴き声 クワッ・クワッ・クワッ…



田 池

トウキョウダルマガエル

体長 全長4～9cm
体色 緑色の背中に黒い斑点が
入る
鳴き声 ングゲゲ…



田 池

ツチガエル

体長 全長3～6cm
体色 灰色っぽい褐色、皮ふが
ザラザラしている
鳴き声 ギュウ・ギュウ…



池

ウシガエル(外来種)

体長 全長11～18cm
国内最大
体色 緑色の地色に茶褐色や暗
褐色の模様が多い
鳴き声 ウオー・ウオー

● 里山で見られる主なヘビ



林 田 毒

ニホンマムシ

体長 全長 40～65cm
 体色 だ円形の斑もんのまん中に濃い色の斑点がある
 えさ カエルやネズミなど



林(地中性) 田

ジムグリ

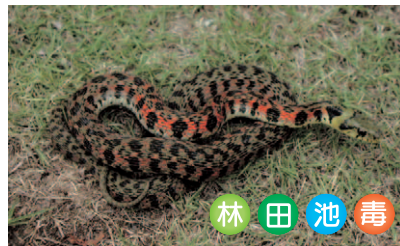
体長 全長 70～100cm
 体色 体全体が黒色
 えさ ネズミなど



林(夜行性) 田

シロマダラ

体長 全長 40～70cm
 体色 茶色で黒いまだらもよう
 えさ 小型のトカゲ類やヘビ類



林 田 池 毒

ヤマカガシ

体長 全長 70～150cm
 体色 褐色の地に黒、朱色、黄色のものがある
 えさ カエル類や小魚やトカゲなど



林 田 池

シマヘビ

体長 全長 90～200cm
 体色 茶色に4本の黒いたてじまもよう
 えさ カエルやトカゲなど



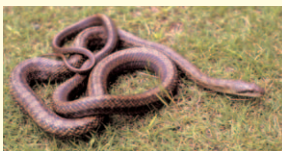
林 田 池

ヒバカリ

体長 全長 40～60cm
 体色 口の縁から首が白い、腹は黄色っぽく両側に黒い点がある
 えさ 小魚、ミミズ、カエルなど



林 田



幼体 褐色の地に黒い斑点がある

アオダイショウ

体長 全長 110～220cm国内最大
 体色 オリーブグリーンの地にぼんやりしたたてじまもよう
 えさ 鳥類や哺乳類など

● 里山で見られるその他の両生類・爬虫類



田 池

アカハライモリ

体長 全長 8～13cm
 体色 背面は黒褐色で、腹側は赤と黒の模様がある
 えさ 水生昆虫やミミズなど



林 田

ニホントカゲ

体長 全長 15～27cm
 体色 体全体が茶色ではんしょく時期にはオスののどはオレンジ色
 えさ 昆虫、クモ、ミミズなど



林 田

ニホンカナヘビ

体長 全長 15～27cm
 体色 背中茶色から黒褐色
 えさ 昆虫など

林……林周辺 田……田んぼ周辺 池……ため池周辺 毒……毒のあるもの

写真提供：栃木県立博物館，財団法人日本蛇族学術研究所